

埼玉県教育委員会のアクティブ・ラーニングのプラットフォームに、 2017年4月より、学習支援クラウドサービス「Classi」が採用

株式会社ベネッセホールディングス(本社:岡山市北区)とソフトバンク株式会社(本社:東京都港区)の合弁会社 Classi(クラッシー)株式会社(本社:東京都新宿区)は、埼玉県教育委員会が全国に先駆けて進めている「アクティブ・ラーニングの視点に基づいた主体的・対話的で深い学び」の取り組みである「未来を拓く『学び』プロジェクト」のプラットフォームとして、2017年4月より学習支援クラウドサービス「Classi」を提供することが決まりましたのでお知らせします。2018年度までの2年間で、埼玉県立高校のうち、約120校以上の高校に「Classi」が導入され、アクティブ・ラーニングの視点からの授業実践をサポートします。2018年度以降は、埼玉県の全県立高校での活用を想定しています。

埼玉県教育委員会は、東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構(CoREF)と連携した「知識構成型ジグソー法による協調学習」の研究・実践事業※1によって、750点を超える授業案や教材を開発し続けています。今後、埼玉県教育委員会は、この協調学習をさらに普及させていくために「教材の効果的な共有」「教員間ネットワークの構築」を目的として「Classi」を活用します。

埼玉県教育委員会が、これまで蓄積してきた教材や今後新たに作成される教材を、「Classi」にアップロードし、単元や学習主題など教材の判別に必要なキーワードによる検索を可能にすることで、埼玉県立高校の先生が、教材を有効かつ手軽に活用できる環境を提供します。また、「Classi」で教員間ネットワークを構築し、異なる学校の教員同士でも簡単に教材や知見を共有することも可能にし、教員の校務負担軽減や質の高い授業実践のサポートを実現します。将来的には、教育改革を見据えて、資質・能力を育む教育課程の実現を目指したカリキュラム・マネジメントの視点から、教材をさらに有効活用できる機能を開発します。また、生徒がプラットフォームを活用できるように、教材を生徒に配信する機能や生徒が学習したい内容に応じて教材を検索できる機能なども提供していく予定です。

Classi は、教育における ICT 活用の重要性と今後の一層の高まりを見据え、学習支援クラウドサービスの提供を通して、教員の指導支援・教務効率化と、生徒のより豊かな学びをサポートするとともに、未来を生きる子どもたちによりよい学びを提供できるよう、新たな教材・サービスの開発に取り組んでいきます。

※1 埼玉県教育委員会と東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構(CoREF)と連携事業について
2010年度・2011年度「学力向上基盤形成事業」2012年度から2014年度「未来を拓く『学び』推進事業」
2015年度から2016年度現在実施「未来を拓く『学び』プロジェクト」を実施。

■ サービス概要

◎ 授業案や教材を投稿・検索・閲覧できる「Classi Lab」

授業案に教科／科目／単元、キーワードを設定して投稿することができ、それらをキーにして検索することができます。Powerpoint・Word・PDFなどのドキュメントのアップロードに対応しており、授業案に付随するファイルを添付することもできます。

▼ 検索画面 ※画像はイメージ

※画面は表示のイメージであり、埼玉県教育委員会で作成された授業案ではありません。

【Classi について】

Classi は先生を介して生徒の学習支援を行うクラウドサービスで、授業・自宅学習の状況や校内のテスト結果などの生徒情報を一元管理・共有できます。先生の声を中心に、先生と一緒に作り上げており、2016 年 4 月より小中学校・専門学校・大学へもサービスを拡大しています。2016 年度に有料版「Classi」を導入する学校は、高校を含め約 1,500 校以上になる予定です。学力の多層化や入試制度の変更など、現在の教育環境下で求められる個々の生徒の特性に応じた指導を、量と質の両面からサポートします。

【サービスのお問い合わせ先】

Classi 株式会社のホームページをご覧ください。 URL : <https://classi.jp/>